

コスタリカ経済定期報告(2026年1月)

2026年1月

在コスタリカ日本大使館 経済班

※出典:コスタリカ中央銀行(BCCR)、財務省、貿易省(GOMEX) 及び貿易振興機構(PROCOMER)。主な出来事については当地新聞記事¹⁾による。

■ 主要経済指標

	2024	2025		
	12	10	11	12
累積輸出総額FOB(100万ドル)	19,899.7	18,926.78	20,871.52	22,637.72
累積輸入総額CIF(100万ドル)	23,661.7	20,979.60	23,053.31	25,101.99
貿易収支(100万ドル)	-3,762.0	-2,052.82	-2,181.78	-2,464.26
財政収支対GDP比(%)	-3.77	-2.59	-3.04	-3.41
消費者物価指数(CPI:2015年6月を100とする)	110.39	108.44	108.95	109.04
為替(通貨はコロン・1米ドルあたり買値・月末値)	506.66	498.19	488.55	495.78
為替(通貨はコロン・1米ドルあたり売値・月末値)	512.73	504.44	496.39	501.42
政策金利(%) (年末・月末)	4.00	3.50	3.50	3.25
基本預金金利(%) (年末・月末)	4.13	3.81	3.78	3.78
外貨準備高(100万ドル) (年末・月末)	14,170.6	16,074.98	17,094.75	17,081.66
失業率	6.8	5.9	6.6	6.3
最低賃金	108.62	113.25	112.72	112.67
貧困率(年次)	18.0	15.2		
ジニ係数(年次)	0.492	0.488		

■ CPTPP 加盟へ

1月10日付当地メディア「ディアリオ・エクストラ」が、CPTPP交渉についてのトバル貿易大臣の発言を掲載。

- (1) マヌエル・トバル貿易大臣は、ディアリオ・エクストラ紙に対し、貿易自由化の影響を軽減するため、国内農業部門の利益を考慮していなければ、環太平洋パートナーシップ協定(CPTPP)への加入交渉は6カ月前に終了していたとして、「TPPのメンバー国からの圧力や、交渉に参加したいと希望する他の国々があるにもかかわらず、我々はまだ交渉を終えていない。それは、生産部門全体の利益を可能な限り最大限に守るため、細部を調整しているからだ」と述べた。

(2) またトバル氏は「世界中の国々がこの貿易協定に注目している。コスタリカ国民にとってのチャンスを逃すことになるため、交渉を中断するつもりはない」と付け加えた。
- しかし、CPTPPへの加盟について、農業部門は、米、乳製品、牛肉、コーヒーなど、いくつかの生産部門に脅威が及ぶと見て、交渉に反対している。
- トバル大臣は、環太平洋パートナーシップ協定(TPP)への加盟により、一部の生産部門は輸出拡大の機会が増える一方、他の部門は国内市場への外部競争の参入に対してより高い保護レベルを求めていることを認めている。しかし同時に、貿易障壁はセクターの競争力を向上させるものではないと強調している。

¹⁾ ラ・ナシオン紙、エル・ディアリオ・エクストラ紙、ラ・レプブリカ紙、エル・フィナンシエロ紙等

■外国投資：サービス部門の企業の49%がコスタリカでの事業拡大を予定

1月22日付当地メディア「ラ・ナシオン」は、サービス分野における外国投資企業の49%が、今後3年間でコスタリカでの事業拡大を計画していると、貿易振興機関（Procomer）が明らかにした旨報じている。

- 1 このデータは、18の分野、34のプロセス、130のサブプロセスを分析した、コスタリカのサービス部門に関する初の詳細調査から得られたものである。この調査によると、同国には360社の外資系サービス企業が登録されている。
- 2 この外資系セクターは、同国に117,000人の直接雇用をもたらしている。この調査によって、コスタリカの人材が、グローバルな環境に適応できる、競争力の高い、多言語・多分野に精通した人材であることがわかった。
- 3 コスタリカ中央銀行（BCCR）のデータによると、2025年第3四半期の登録外国投資額は35億ドルで、その80.7%は製造業によるものであった。サービス業は2%を占めた。
同期間におけるサービス輸出（観光を除く）は、87億8500万ドルに達し、前年同期比2%の伸びとなり、8%の伸びを示した前期より減速している。
- 4 Procomerの商業情報部長、ギジェルモ・スニガ氏の発言概要は以下のとおり。
 - (1) サービス輸出の内訳：ビジネスサービス（41.8%）、観光（32.2%）、情報技術・情報・通信（15.1%）、加工サービス（5.1%）。
 - (2) 多国籍企業が提供する主な輸出サービス：技術・情報サポート、財務・会計、人事、顧客サービス、分析、デジタルトランスフォーメーションなど。
 - (3) 使用言語：この調査によると、多国籍企業が提供するサービス分野の55%は、英語、スペイン語、ポルトガル語、フランス語、中国語、日本語、ドイツ語の7言語で提供されている。
- 5 Procomerのラウラ・ロペスGMは当国への外国投資状況について以下の点を指摘。
 - (1) 雇用：コスタリカの輸出セクターは約70万人の直接雇用を創出しており、そのうち約32万5000人は外国投資多国籍企業によって保証されている。このうち11万7000人以上がサービスセクターに従事しており、全体の36%を占めている。
 - (2) 信頼性：先進的な製造業分野におけるシェアードサービスの投資プロジェクトが成長しており、こうした投資はコスタリカの信頼性を示している。
 - (3) 専門分野：サイバーセキュリティやデータ分析などの専門分野への投資が成長している。
- 6 グローバルな展開：コスタリカに拠点を置くサービス企業は、45カ国以上にサービスを提供している。企業の86%が米国、63%が中米およびカリブ海地域、50%が南米、26%がヨーロッパ、12%がオセアニア、7%がアフリカで事業を展開している。